



x64 Linux版 SAS[®] 9.2 Foundation システム必要条件



著作権情報

このマニュアルの正確な書籍情報は、以下のとおりです。

SAS® 9.2 Foundation System Requirements for Linux® for x64

Copyright© 2008, SAS Institute Inc., Cary, NC, USA.

本書は、発行元である SAS Institute, Inc.の事前の書面による承諾なく、この出版物の全部あるいは一部を、電子データ、印刷、コピー、その他のいかなる形態または方法によって、複製、転送、または検索システムに保存することは禁止されています。これらの説明書は著作権により保護されています。

著作権保護を受ける本書の使用の範囲は制限されています。許される使用の範囲とは、使用者のシステムに保存して端末に表示すること、本書が提供された目的である、SAS プログラミングおよびライセンスプログラムのインストール・サポートの責任者が使用するために、必要な部数だけコピーすること、および特定のインストール要件を満たすように内容を修正することを指します。本書の全部あるいは一部を印刷する場合、またはディスプレイ媒体に表示する場合は、SAS Institute の著作権表示を明記する必要があります。上記の条件以外で本書を複製または配布することは一切禁止されています。

アメリカ合衆国政府の制約された権限についての通知

アメリカ合衆国政府による、本ソフトウェアおよび関連するドキュメントの使用、複製、公開は、「FAR52.227-19 Commercial Computer Software-Restricted Rights」（1987年6月）に定められた制限の対象となります。

SAS Institute Inc., SAS Campus Drive, Cary, North Carolina 27513.

SAS®および SAS Institute のプロダクト名またはサービス名は、米国およびその他の国における SAS Institute Inc.の登録商標または商標です。

®は米国で登録されていることを示します。

その他、記載されている会社名および製品名は各社の登録商標または商標です。

目次

概要	1
必要なソフトウェア	1
オペレーティングシステム	1
Webブラウザ	2
必要なハードウェア	4
サポートしている機種	4
配布メディア	4
最低限必要なメモリ容量	4
サポートしているディスプレイ	4
必要なディスク容量	5
SAS/GRAPHマップデータセット	6
DBCSサポート	6
簡体字中国語	7
繁体字中国語	7
日本語	7
韓国語	7
UTF-8 エンコーディング	7
プロダクト要件	8
Base SAS	8
SAS/ACCESS Interface to DB2	8
SAS/ACCESS Interface to Informix	8
SAS/ACCESS Interface to Microsoft SQL Server	9
SAS/ACCESS Interface to MySQL	9
SAS/ACCESS Interface to Netezza	9
SAS/ACCESS Interface to ODBC	10
SAS/ACCESS Interface to Oracle	10
SAS/ACCESS Interface to PC Files	11
SAS/ACCESS Interface to Sybase	11
SAS/ACCESS Interface to Teradata	12
SAS/AF	13
SAS/EIS	13
SAS/ETS	14
SAS/Genetics	14
SAS/GIS	14
SAS/IntrNet	14

CGIツールとアプリケーション.....	15
Java Toolsとアプリケーション.....	15
SAS/LAB	15
SAS/OR	15
SAS/QC	15
SAS/STAT	16
グラフィックハードウェアおよびソフトウェアの互換性	17
プリンタ.....	17
ディスプレイ.....	17
他のグラフィックソフトウェアとのインターフェイス.....	17
ActiveXとJavaデバイスドライバによって作成されたHTMLファイルの閲覧.....	18

概要

このドキュメントには、x64 Linux 環境に SAS 9.2 Foundation をインストールし、実行するためのシステム必要条件が記載されています。SAS 9.2 Foundation を実行する前に、最低必要条件を満たすようにシステムを更新する必要があります。このドキュメントに記載されている主なシステム必要条件は、次のとおりです。

- 必要なソフトウェア
- 必要なハードウェア
- 必要なディスク容量
- プロダクト要件
- グラフィックハードウェアおよびソフトウェアの互換性

必要なソフトウェア

オペレーティングシステム

SAS は、次のオペレーティングシステムをサポートしています。

- Red Hat Enterprise Linux 4および5
- SuSE Linux Enterprise Server 9および10

Red Hat Enterprise Linux 4 以上を使用する場合、SAS は SAS Deployment Wizard を実行するために 32-bit バージョンの x11 ライブラリのインストールを必要とします。Red Hat Enterprise Linux 4 の場合、これらのライブラリは、xorg-x11-deprecated-libs パッケージにあります。

Basic Linux インストールでは、SAS が必要なすべてのパッケージが提供されます。基本オペレーティングシステムのデフォルトパッケージ（たとえば、X11 ライブラリ、システムユーティリティなど）を除いてインストールすると、問題が発生することがあります。

Linux 版 SAS 9.2 とともに出荷される Unicode ライブラリは、互換性のある標準 C++ライブラリ（`/usr/lib/libstdc++.so.5` または、`/usr/lib64/libstdc++.so.5` にあります）のインストールに依存します。

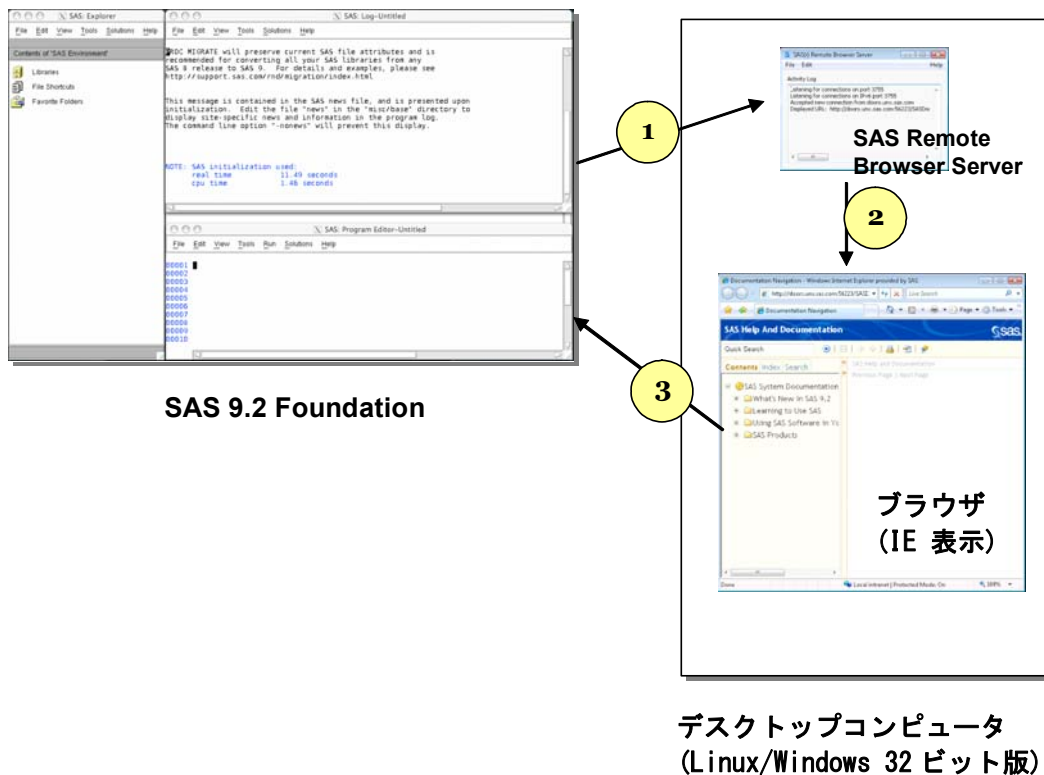
- Red Hat Enterprise Linux 4の場合、RPMパッケージ`compat-libstdc++-33-3.2.3-47.3`です。Red Hat Enterprise Linux 5の場合、RPMパッケージ`compat-libstdc++-33-3.2.3-61`です。
- SuSE Linux Enterprise Server 9の場合、RPMパッケージ`libstdc++-3.3.3-43.24`です。SuSE Linux Enterprise Server 10の場合、RPMパッケージ`compat-libstdc++-5.0.7-22.2`です。

注意： パッチレベルは、このドキュメントの作成時点で最新のパッチレベルを記載しています。しかし、x64 Linuxに必要なパッチは、SASの開発の進捗によって変わる可能性があります。必要なパッチレベルの最終的な情報は、インストールセンターのWebサイト（<http://support.sas.com/installcenter/>）で最新の『System Requirements』を参照してください。日本語版のドキュメントは、日本語インストールセンターのWebサイト（<http://www.sas.com/japan/service/documentation/installcenter/>）にあります。

Web ブラウザ

SAS 9.2 Foundation は、Web ベースの情報を表示する際、リモートブラウジング（Remote Browsing）という新しいシステムを使用します。SAS 9.2 Foundation は、UNIX ワークステーション上で実行されているブラウザに情報を表示するのではなく、デスクトップコンピュータに URL を送り、そこにある Web ブラウザで情報を表示します。これにより、UNIX サーバーからブラウザのオーバーヘッドを取り除きます。デスクトップコンピュータ上には、SAS とブラウザの通信を可能にするために、SAS Remote Browser Server という小さなソフトウェアエージェントがインストールされます。リモートブラウジングの実行プロセスは、下記の図のとおりです。

SAS は、Web で表示する情報（ヘルプや ODS 出力など）を参照するための URL を生成し、その URL をデスクトップコンピュータ上の SAS Remote Browser Server に送ります（手順①）。SAS Remote Browser Server は、ブラウザにページを表示するように要求します（手順②）。ブラウザは、SAS に再接続して情報を取り出し、その内容を表示します（手順③）。



リモートブラウジングを使用するには、使用するデスクトップコンピュータは、下記のいずれかであり、サポートされているブラウザのひとつがインストールされている必要があります。

プラットフォーム	サポートされているブラウザ
Windows XP / Vista (32ビット版)	Firefox 2.0
	Internet Explorer 6 (SP2適用)
	Internet Explorer 7
Linux	Firefox 2.0

SAS で Web ベースの情報を表示するためには、SAS Remote Browser Server のインストールと実行が必要です。SAS Remote Browser Server のインストーラは、support.sas.com の Web サイト (<http://support.sas.com/documentation/configuration/thirdpartysupport/v92/thirdparty92.html>) にあります。また、SAS セッションから直接ダウンロードできます。

SAS が Web ブラウザを使用するためには、Web ブラウザでポップアップウィンドウが表示できるように設定する必要があります。さらに、場合によっては、SAS またはサードパーティの Web サイトにアクセスが必要なことがあります。外部の Web サイトにアクセスするためのブラウザの設定は、システム管理者に相談してください。

必要なハードウェア

サポートしている機種

- Intelプロセッサ（Intel 64サポート）もしくは、AMDプロセッサ（AMD 64サポート）

配布メディア

- SAS Electric Software Delivery（ESD:ダウンロードによるソフトウェアの配布）
- DVD

最低限必要なメモリ容量

- 64MB（推奨）
- 同時に使用する場合は、ユーザーごとにさらに8MBが必要

サポートしているディスプレイ

- すべてのX11ベースのディスプレイサーバー。モニタは最低でも256色をサポートしているもの（PseudoColor）

必要なディスク容量

次の表は、x64 Linux 版 SAS 9.2 Foundation で使用できるすべての SAS プロダクトごとの必要なディスク容量を示しています。SAS 9.2 のインストールに必要なディスク容量は、この表で確認できます。これらの数値は、すべて参考値であることに注意してください。また、SAS 9.2 Foundation のインストールには、/tmp に約 30MB の空きディスク容量が必要です。

プロダクト名	必要なディスク容量	サンプル/オプションファイル用に必要なディスク容量
Base SAS	734.3	8.4
ODS Templates	6.9	0.0
Report Fonts for Server	369.6	0.0
SAS Data Quality Server	145.9	0.1
SAS Installation and Qualification Verification	0.2	0.0
SAS OLAP Server	4.0	0.0
SAS/ACCESS Interface to DB2	1.2	0.2
SAS/ACCESS Interface to Informix	0.9	0.2
SAS/ACCESS Interface to Microsoft SQL Server	22.7	0.2
SAS/ACCESS Interface to MySQL	0.5	0.2
SAS/ACCESS Interface to ODBC	1.2	0.2
SAS/ACCESS Interface to Oracle	1.4	0.2
SAS/ACCESS Interface to PC Files	5.2	0.2
SAS/ACCESS Interface to Sybase	1.5	0.2
SAS/ACCESS Interface to Teradata	1.0	0.2
SAS/AF	11.4	0.0
SAS/ASSIST	22.9	0.0
SAS/CONNECT	4.5	0.2
SAS/EIS	21.4	10.5
SAS/ETS	95.7	2.5
SAS/FSP	1.7	0.0
SAS/Genetics	12.6	0.2
SAS/GIS	68.8	0.3
SAS/GRAPH	245.5	2.5
SAS/IML	25.3	0.7
SAS/INSIGHT	23.9	0.4
SAS/IntrNet	4.3	1.2
SAS/LAB	10.9	0.0
SAS/OR	74.2	2.7
SAS/QC	106.9	3.5
SAS/SECURE 168-bit	0.7	0.0
SAS/SHARE	2.0	0.2
SAS/STAT	231.4	4.7
SAS/TOOLKIT	0.5	0.0

SAS/GRAPH マップデータセット

データセット	必要なディスク容量
アフリカおよび中近東諸国	6.6
アジア太平洋諸国の地図	35.4
ヨーロッパ諸国	24.0
アメリカ合衆国	5.9
中南米およびカリブ海諸国	6.5
カナダ	1.8
ヨーロッパ大陸	36.8
世界地図	7.3
アメリカ郡別特大地図 (非投影)	11.0
アメリカ郡別大型地図 (非投影、縮小)	1.4
アメリカ本土郡別大型地図 (投影法使用、縮小)	1.4
アメリカ州別大型白地図 (非投影)	1.3
全地域の合計	139.4

DBCS サポート

次の表には、DBCS サポートを提供する SAS 9.2 コンポーネントの必要なディスク容量が示されています。

プロダクト名	必要なディスク容量
Base SAS	47.0
SAS/ACCESS Interface to DB2	0.9
SAS/ACCESS Interface to Microsoft SQL Server	0.9
SAS/ACCESS Interface to MySQL	0.5
SAS/ACCESS Interface to ODBC	0.9
SAS/ACCESS Interface to Oracle	0.4
SAS/ACCESS Interface to PC Files	2.5
SAS/ACCESS Interface to Sybase	0.8
SAS/AF	0.4
SAS/CONNECT	2.0
SAS/EIS	0.4
SAS/FSP	0.6
SAS/GRAPH	61.5
SAS/INSIGHT	6.3
SAS/LAB	1.8
SAS/QC	0.9
SAS/STAT	1.6

簡体字中国語

簡体字中国語サポート	必要なディスク容量
Base SAS	6.1
SAS OLAP Server	0.2
SAS/GRAPH	0.3
SAS/IntrNet	0.3

繁体字中国語

繁体字中国語サポート	必要なディスク容量
Base SAS	0.7
SAS OLAP Server	0.2
SAS/GRAPH	16.8

日本語

日本語サポート	プライマリ エンコーディングに 必要なディスク 容量	セカンダリエ ンコーディン グに必要なデ ィスク容量
Base SAS	10.3	10.3
SAS OLAP Server	0.2	0.2
SAS/ETS	1.0	1.0
SAS/GRAPH	0.3	0.3
SAS/IntrNet	0.3	0.3
SAS STAT	1.4	1.4
アジア太平洋諸国の地図	2.2	2.2

韓国語

韓国語サポート	必要なディスク容量
Base SAS	5.6
SAS OLAP Server	0.2
SAS/GRAPH	0.3
SAS/QC	0.2

UTF-8 エンコーディング

UTF-8サポート	必要なディスク容量
Base SAS	0.1

プロダクト要件

Base SAS

x64 Linux における SPD エンジンの必要条件:

- 少なくとも2つのCPU（4つのCPUが望ましい）を持つSMP（Symmetric Multiple Processor：対照型マルチプロセッサ）コンピュータ
- 2つのCPUごとに、少なくとも1つのI/Oチャンネル
- CPUごとに少なくとも1つの専用のマウントポイントを持つディスクドライブ。CPUごとに2つのマウントポイントを推奨。

ODS Graphics

Base SAS で ODS Graphics を使用するには、SAS/GRAPH のライセンスが必要です。

SAS/ACCESS Interface to DB2

必須 SAS プロダクト

- Base SAS
- SAS/ACCESS Interface to DB2

必須 DBMS 製品

- DB2 Universal Database Version 8.1 FixPak 4 以降(64ビットライブラリ)

SAS/ACCESS Interface to DB2 は、DB2 Server、または DB2 Run-Time Client、DB2 Application Development Client、DB2 Administration Client のクライアントモジュールがインストールされた DB2 Client Node にインストールすることができます。また、AS/400、VSE、VM、MVS、OS/390 上の DB2 データベースに接続するには、DB2 Connect のインストールが必要です。

注意： インストールしたオペレーティングシステム上で（バージョンレベルも含め）、使用する DB2 のリリースが動作するかどうか IBM によって確認されている必要があります。このドキュメントの作成時点では、IBM は Red Hat Advanced Server 2.1 上において Linux DBMS プロダクトの動作のみ確認しています。

SAS/ACCESS Interface to Informix

必須 SAS プロダクト

- Base SAS
- SAS/ACCESS Interface to Informix

必須 DBMS 製品

- Informix Client SDK 2.90 FC1（64ビットライブラリ）

SAS/ACCESS Interface to Informix は ODBC 接続を使用します。ODBC ドライバは Informix Connect に含まれており、SAS/ACCESS to Informix を使用する前にインストールおよび設定しておく必要があります。

SAS/ACCESS Interface to Informix を利用するには、TCP/IP 等の通信プロトコルも必要です。

SAS/ACCESS Interface to Microsoft SQL Server

必須 SAS プロダクト

- Base SAS
- SAS/ACCESS Interface to Microsoft SQL Server

SAS/ACCESS Interface to MySQL

必須 SAS プロダクト

- Base SAS
- SAS/ACCESS Interface to MySQL

必須 DBMS 製品

- MySQL Client 4.1もしくは5.0
- MySQL Server 5.0以降

SAS/ACCESS Interface to MySQL の詳細は、『SAS/ACCESS Software for Relational Database: Reference』のMySQLに関する記述を参照してください。

SAS/ACCESS Interface to Netezza

必須 SAS プロダクト

- Base SAS
- SAS/ACCESS Interface to Netezza
- Netezza ODBC ドライバ リリース3.1.4以降（Netezza Webサイトからダウンロード、もしくは、Netezzaテクニカルサポートから入手可能。入手方法については、下記参照。）

SAS/ACCESS Interface to Netezza は、Netezza の ODBC ドライバが必須です。Netezza ODBC ドライバ（リリース 3.1.4 以降）を入手するには、Netezza テクニカルサポートにお問い合わせになるか、Netezza カスタマーサポート Web サイトを参照してください。

米国 Netezza 社テクニカルサポート : +1 (877) 810-4441

日本ネティーザ社（代表）: 03-4350-5424

米国 Netezza 社ダウンロードサイト : <http://www.netezza.com/support/login.cfm>

日本ネティーザ社ダウンロードサイト : <http://www.netezza.jp/support/login.cfm>

SAS/ACCESS Interface to ODBC

必須 SAS プロダクト

- Base SAS
- SAS/ACCESS Interface to ODBC

必須 DBMS 製品

- 対応するODBCドライバマネージャとODBCドライバ（64ビットライブラリ）

このドライバは、DBMS ベンダーや ODBC ドライバを開発しているサードパーティから提供されます。ODBC ドライバによっては、データにアクセスするために他の DBMS ソフトウェアが必要なことがあります。

テキストエディタでユーザーのホームディレクトリの.odbc.ini ファイルを編集してデータソースを設定します。ODBC ドライバのベンダーによっては、システム管理者がコピーを一括管理できるように環境変数を設定しているものもあります。

ODBC ドライバは、ODBC API 互換のダイナミックリンクライブラリで、UNIX では共有オブジェクトと呼んでいるものです。LD_LIBRARY_PATH にダイナミックリンクライブラリへの完全なパス名を指定し、実行時に ODBC ドライバが動的にロードできるように設定する必要があります。

詳細は、ODBC ドライバのベンダーにお問い合わせください。

SAS/ACCESS Interface to Oracle

必須 SAS プロダクト

- Base SAS
- SAS/ACCESS Interface to Oracle

必須 DBMS 製品

SAS/ACCESS Interface to Oracle は、Oracle RDBMS サーバーのフルノードと Oracle クライアントノードのどちらにもインストールできます。

次のリリース以降の Oracle Client が必要です。

- Oracle 9i（64ビットライブラリ）

注意： SAS/ACCESS Interface to Oracleのバルクロード機能を使用するには、OracleのSQL*Loader data-loadingユーティリティをインストールする必要があります。Oracle インストーラを実行してOracle Utilitiesプロダクトを選択すると、このユーティリティがインストールされます。SQL*Loaderに関する詳細は、Oracleのドキュメントを参照してください。

SAS/ACCESS Interface to PC Files

必須 SAS プロダクト

- Base SAS
- SAS/ACCESS Interface to PC Files

必須 SAS プロダクト (Windows)

- SAS PC Files Server (Windows 32-bitシステムもしくは、WOW64上で実行しているもの)

必須 DBMS 製品 (Windows)

- Microsoft Office 2007 System Driver Data Connectivity Components (ACE)
- Microsoft Data Access Components (MDAC) Version 2.8以降

SAS/ACCESS Interface to PC Files は、区切り文字で区切られたファイル (.csv もしくは.tab)、dBase ファイル (.dbf)、JMP ファイル (.jmp)、SPSS ファイル (.sav)、Stata ファイル (.dta)、Excel ファイル (.xls)、Microsoft Access データベースファイル (.mdb もしくは.accdb) など、事実上ほとんどのデータソースに対するアクセスを Windows 上の ODBC によってサポートしています。

しかし、Microsoft Access データベースファイル (.mdb もしくは.accdb)、Microsoft Excel ワークブックファイル (.xls、.xlsb、.xlsm もしくは.xlsx) もしくは、その他の ODBC をサポートしているデータソースにアクセスするために、SAS/ACCESS Interface to PC Files は、PC Files サーバー (pcfserver.exe もしくは、pcfservice.exe) が Windows 32-bit システムか WOW (Windows-on-Windows) サブシステムを導入した Windows 64-bit システムで実行されていることを必要とします。

SAS/ACCESS Interface to Sybase

必須 SAS プロダクト

- Base SAS
- SAS/ACCESS Interface to Sybase

必須 DBMS 製品

Sybase Open Client ソフトウェアの次のリリースが必要です。

- Sybase Open Client SDK (Software Developer's Kit) Software Release 12.5.x (64ビットのライブラリ)

次のプロダクトを推奨します。

- Adaptive Server Enterprise Release 11.x 以降

注意： SAS/ACCESS Interface to Sybaseでは、Microsoft SQL Serverに対する接続がサポート対象外となりました。SAS/ACCESS Interface to Sybaseは、Sybase DBMSプロダクトにアクセスするのにCTLIB APIコールを使用します。CTLIB APIコールは、Microsoft SQL Serverではサポートされていないため、Microsoft SQL Server上のデータにアクセスするためには、SAS/ACCESS Interface to ODBCと適切なODBCドライバが必要となります。

注意： Sybase ASIQ, Release 12.xはサポート対象外ですので、SAS/ACCESS Interface to ODBC
をご利用ください。

SAS/ACCESS Interface to Teradata

必須 SAS プロダクト

- Base SAS
- SAS/ACCESS Interface to Teradata

必須 DBMS 製品

Teradata クライアントソフトウェアの次のリリースが必要です。

- Teradata CLV2クライアントライブラリ、TTU 8.2 for Linux 以降

次のプロダクトを推奨します。

- Teradata FastExportユーティリティ、TTU 8.2 for Linux 以降
- Teradata MultiLoadユーティリティ、TTU 8.2 for Linux 以降
- Teradata Parallel Transporter API、TTU 8.2 for Linux 以降

SAS/AF

必須 SAS プロダクト (アプリケーション作成時)

- Base SAS
- SAS/AF
- SAS/GRAPH (グラフィックオブジェクトを作成して表示する場合)
- アプリケーションに応じて、その他のプロダクトが必要になる場合があります。

必須 SAS プロダクト (アプリケーション実行時)

- Base SAS
- SAS/GRAPH (グラフィックオブジェクトを表示する場合)
- アプリケーションに応じて、その他のプロダクトが必要になる場合があります。

プリンタ

- グラフィックオブジェクトを印刷する場合、カラーまたはグレイスケールのプリンタが必要です。
- グラフィックでないオブジェクトを印刷する場合、オブジェクトによってはSAS/GRAPHが必要になることがあります。

SAS/EIS

必須 SAS プロダクト (アプリケーション作成時)

- Base SAS
- SAS/AF
- SAS/EIS
- SAS/FSP
- SAS/GRAPH
- アプリケーションに応じて、その他のプロダクトが必要になる場合があります。

必須 SAS プロダクト (アプリケーション実行時)

- Base SAS
- SAS/GRAPH
- SAS/EIS
- アプリケーションに応じて、その他のプロダクトが必要になる場合があります。

メモリ

- 同時に使用する場合はユーザーごとに96MBが必要
- 同時に使用する場合はユーザーごとに128MBを推奨

プリンタ

- グラフィックオブジェクトを印刷する場合、カラーまたはグレースケールのプリンタが必要です。

SAS/ETS

SAS/ETS で ODS Graphics を使用するには、SAS/GRAPH のライセンスが必要です。

SAS/Genetics

必須 SAS プロダクト

- Base SAS
- SAS/Genetics
- SAS/GRAPH

SAS/GIS

必須 SAS プロダクト (アプリケーション作成時)

- Base SAS
- SAS/AF (推奨)
- SAS/GIS
- SAS/GRAPH
- アプリケーションに応じて、その他のプロダクトが必要になる場合があります。

必須 SAS プロダクト (アプリケーション実行時)

- Base SAS
- SAS/FSP (推奨)
- SAS/GIS
- SAS/GRAPH
- アプリケーションに応じて、その他のプロダクトが必要になる場合があります。

プリンタ

- カラーまたはグレースケールのプリンタが必要です。利用可能なプリンタについては、このドキュメントの「グラフィックハードウェアおよびソフトウェアの互換性」を参照してください。

SAS/IntrNet

SAS/IntrNet は、個別にインストールできる複数のコンポーネントで構成されています。SAS/IntrNet Server は、既存の SAS System 上にインストールされます。このソフトウェアは SAS 9.2 のメディアに同梱されています。

CGI ツールとアプリケーション

Application Dispatcher

必須プロダクトは、Base SAS と SAS/IntrNet Server です。Application Broker コンポーネントを Web サーバーにインストールする必要があります。

htmSQL

必須プロダクトは、Base SAS と SAS/SHARE で、SAS/IntrNet ライセンス (SETINIT) も必要です。htmSQL コンポーネントを Web サーバーにインストールする必要があります。

MDDB レポートビューワアプリケーション

必須プロダクトは、Base SAS、SAS/GRAPH、SAS/IntrNet、および SAS/EIS または SAS OLAP Server です。Application Dispatcher コンポーネントをインストールする必要があります。

Xplore Sample Web アプリケーション

必須プロダクトは、Base SAS と SAS/IntrNet Server です。Application Dispatcher コンポーネントをインストールする必要があります。

Java Tools とアプリケーション

SAS/CONNECT Driver for Java

必須プロダクトは、Base SAS、SAS/CONNECT、SAS/IntrNet です。データサービスを使用する場合は、SAS/SHARE もインストールする必要があります。Java Tools パッケージは、Web サーバーまたはクライアントシステムにインストールする必要があります。

トンネル機能

UNIX または Windows の Web サーバーにインストールする必要があります。

SAS/LAB

必須 SAS プロダクト

- Base SAS
- SAS/FSP (対話形式でデータを入力する場合)
- SAS/GRAPH
- SAS/LAB

SAS/OR

SAS/OR で ODS Graphics を使用するには、SAS/GRAPH のライセンスが必要です。

SAS/QC

SAS/QC で ODS Graphics を使用するには、SAS/GRAPH のライセンスが必要です。

SAS/STAT

SAS/STAT で ODS Graphics を使用するには、SAS/GRAPH のライセンスが必要です。

グラフィックハードウェアおよびソフトウェアの互換性

プリンタ

SAS/GRAPH は、HP-GL、HP-GL/2、PCL のポストスクリプトおよび次のメーカーのプリンタで使用されているその他のプリンタ言語をサポートしています。

Brother、Canon、Hewlett-Packard、IBM、KONICA MINOLTA、Lanier、Lexmark、Okidata、QMS、Ricoh、SHARP、Xante、Xerox

ディスプレイ

グラフの表示には、X ウィンドウが利用可能なディスプレイ、ターミナル、もしくはエミュレーションソフトウェアが必要です。

他のグラフィックソフトウェアとのインターフェイス

SAS/GRAPH には、バイナリ形式、文字形式、もしくはクリアテキスト形式のコンピュータグラフィックスメタファイル (CGM) を作成するドライバが含まれています。これによって、SAS/GRAPH の出力を Word for Windows、WordPerfect for Windows、Harvard Graphics、Lotus Freelance のような CGM 形式のファイル入力をサポートしているソフトウェアや、CGM 形式のファイル入力をサポートするデバイスに読み込むことができます。

SAS/GRAPH から EPS ファイルを作成し、Microsoft Word や WordPerfect のようなワープロソフトで読み込むこともできます。SAS/GRAPH では、Windows メタファイルも作成できます。Windows メタファイルは、Microsoft Office、Lotus Smart Suite、Perfect Office などを読み込むことができます。詳細は、弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。

SAS/GRAPH の HPGL もしくは HPGL2 ドライバは、CorelDraw や Micrografx Designer のような多くのベクターベースの描画プログラムを変換するために使用できます。

SAS/GRAPH には、PDF 用や SVG 用のドライバだけでなく、BMP、DIB、EMF、EPSI、PBM、PPM、GIF、JPEG、EMF、WMF、PNG、TIFF および PaintBrush のイメージフォーマットも含まれています。また、SAS/GRAPH では、次の形式のグラフィックデータを読み込むことができます。

- BMP - Microsoft Windows Bitmap
- DIB - Device Independent Bitmap
- EMF - Microsoft NT Enhanced Metafile
- EPSI - Encapsulated PostScript Interchange
- GIF - Graphics Interchange Format
- JPEG - JPEG Files
- PBM - Portable Bitmap
- PCD - Kodak Photo-CD
- PCX - PC PaintBrush
- PNG - Portable Network Graphics
- TGA - Targa format

- TIF - Tagged Image File Format
- WMF - Microsoft Windows Metafile Format
- XBM - X11 Bitmap
- XWD - X Window Dump

SVG 出力を参照するには、Mozilla 1.8+ ベースのような SVG コンテンツを表示できるブラウザか、Adobe 社の SVG プラグインのようなプラグインか、もしくは、Batik 社の SVG ビューアのようなアプリケーションが必要です。

PDF の出力を参照するには、Adobe Reader が必要です。

ActiveX と Java デバイスドライバによって作成された HTML ファイルの閲覧

SAS 9.2 Foundation では、ActiveX と Java デバイスドライバを利用して、HTML ファイルを作成することができます。

このオペレーティングシステムで HTML ファイルを表示できる Web ブラウザについては、このドキュメントの「必要なソフトウェア」の Web ブラウザの記述を参照してください。

Java アプレットを表示するには、Java プラグインをそれぞれのクライアントにインストールする必要があります。Windows 環境では、プラグインがインストールされていない場合、インストールされていないことが通知され、その通知に従ってインストールすることができます。



THE
POWER
TO KNOW®

support.sas.com

SAS is the world leader in providing software and services that enable customers to transform data from all areas of their business into intelligence. SAS solutions help organizations make better, more informed decisions and maximize customer, supplier, and organizational relationships. For more than 30 years, SAS has been giving customers around the world The Power to Know®. Visit us at www.sas.com.

英語版更新日 November 19 2008

x64 Linux 版
SAS[®] 9.2 Foundation システム必要条件

2008年11月28日 第1版第2刷発行 (92B6)

発行元 SAS Institute Japan株式会社

〒106-6111 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー11階

本書の内容に関する技術的なお問い合わせは下記までお願い致します。

SASテクニカルサポート

TEL: 03 (6434) 3680 FAX: 03 (6434) 3681